



## ● The 24<sup>th</sup> General Meeting (2022.4.17)



まどかぴあ会議室にて開催されました。2022年度の事業計画と予算案が承認され、今年度の事業がスタートしました。総会開催にあたって来賓の井本市長から祝辞を賜り、コミュニティ文化課の濱課長（協会員）からもご挨拶いただきました。

### ☆ 市役所の協会担当課が変わりました

これまではふるさとにぎわい課にお世話になっていましたが、今年度からはコミュニティ文化課（新館3階）に担当していただくことになりました。

### Study Meeting: 「食文化から考えるグローバル化とアイデンティティー」

総会后、柳原協会理事を講師に迎えて講座を開催しました。日頃慣れ親しんでいる食物にも実は国際的な来歴があること、日本と台湾、さらに中国には食を通しての長いつながりがあることなどを学びました。例えば餃子は日本では焼き餃子、中国では水餃子が一般的ともいわれますが、中国にも「鍋貼」という焼き餃子があり、それが人々の移動と共に台湾を通して日本に伝わったことなど、興味深い話題をたくさん語っていただきました。



### \*\*\*\*\* 事務担当者が替わりました \*\*\*\*\*

協会の事務を担当されていた豊原さんが5月に退職され、新任の三浦さんを迎えることになりました。お2人からメッセージをいただいています。

● ボランティア活動に積極的に取り組まれている協会員さんをととても尊敬しています。その姿勢に学ぶことが多くあり、国際交流協会の事務局員として働けたことは、私の人生においてとても貴重なものとなりました。この経験を今後の糧としてこれからも頑張っていきたいと思えます。今まで本当にお世話になりました。ありがとうございました！（豊原）

● この度、豊原さんの後任として事務局を担当いたします、三浦です。初めてのことばかりで、至らないこともあるかと存じますが、皆様のお役に立てるよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。（三浦）

## 今後の活動について

5月14日に第1回運営委員会が開催され、2022年度の活動について話し合いました。今年度は従来の「文化講座」「国際交流フェスティバル」「異文化交流会」の3部門が統合されて「異文化交流」となったほか、外国人とすぐに英語でコミュニケーションがとれるようになるための「英語道場」が開講されるなど、新しい試みの年です。コロナ禍の下でも工夫して開催してきた、国際交流フェスティバルや異文化交流会、TOMORROWの国際大運動会も引き続き開催を予定しています。運動会については県の留学生会（FOSA）とすでに共催の話し合いに入っています。今年度は留学生の朱さんが運営委員となり、またFOSAのスポーツ部門の役員が協会に入会するなど、横のつながりも充実してきています。皆さんふるってご参加ください。（※英語道場については同封のチラシをご覧ください）

### 2022年度 運営委員会

	ことばの交流	TOMORROW	異文化交流	BEGIN 新聞
担当運営委員	有馬	宮下	郷原	辻村
運営スタッフ	高向・森田	東・朱	関井・長澤	大園・堂端

年々活発化していることばの交流ひろばの活動は、受講希望者が増えていることもあり、4月16日にスタートしました。今年度もさまざまな交流内容を計画しています。協会は大野城市と「災害時における外国人支援への協力に関する協定」を結んでおり、昨年度も市と共同で「外国人のための防災講座」を開催しました。この4月に市制50周年を記念して市役所前にオープンした「まどか広場」は、災害時の避難場所としての機能も備えています。「ことばの交流ひろば」でも、3回にわたって防災関連の活動を実施し、今年度も市と共催の防災教室や、福岡防災センターでの学習を計画しています。その際には、日ごろことばスタッフとして参加していない会員の皆さんからの参加も募集したいと考えています。また、災害時における外国人支援のための通訳等のボランティアも募集する予定ですので、ご協力をよろしくお願いいたします。

以前ビギン新聞でも紹介しましたが、2019年に第2次大野城市国際化推進プランが策定され、4年目となりました。このプランでは「外国人市民も安心して快適に暮らせる環境づくり」等を基本目標とし、外国人への生活サポートや地域参加促進、本協会等と連携した国際交流・異文化理解の機会の促進などが施策として挙げられています。先日の「大野城市市制50周年記念どんたく隊」には、ことばの交流ひろばの受講生も参加しました。こういった中で、日本語や日本文化を学習し交流する「ことばの交流ひろば」の役割はますます重要になってきているといえます。

（※ことばの交流ひろばについては別紙の年間交流内容をご覧ください）

## ● 「ことばの交流ひろば」

2022年度の日本語クラスの受講生は下記の国と地域の人々です。(6月18日現在)

国地域	中国	香港	キルギス	タイ	インド	ベトナム	ウガンダ	フランス	バングラディシュ
人数	7	1	1	1	3	1	1	2	1

日本語学習後の交流は「自己紹介」から始まり「日本で行ってみたい処や体験したいこと」「日本の祝日」等を話題に楽しい交流が始まりました。

テーマごとの会場の様子は下記のとおりです。

- 「食文化」フランス人による本場フォアグラのつくり方や中国人による本場中国の麻婆豆腐の作り方のレシピが披露されました。

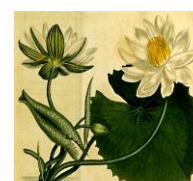


- 「日本の習慣」のテーマでは日本の会社では朝礼があって始業や終業時にベルが鳴り社員が掃除をしますが、フランスではやらないので意外に感じたそうです。インドでは掃除は使用人がするもので更に意外に感じたそうです。また、香港では「会社の人とでも友人とでも食事」で店のテーブルに着くとき、当然の配慮として男性は通路側に座って女性を奥側に座らせますが日本では全然気にされていない。これが香港なら「大問題、恋人関係なら終わり」だそうです。中国で「ご馳走様」は、「感謝招待」だそうです。

- 「衣替え」のテーマでは、中国の女子生徒の制服のスタイルは様々に変更を経て現在はスポーツウェアそのものになっていて、日本の女子生徒がスカートをひらひらさせて自転車で走っている姿を見ると「うお〜、ヤバいね」と思うそうです。

## 異文化理解

1999年の大野城市国際交流協会の設立時から長く協会と交流のありました九州大学研究員のハムディ・フラグさんが今年の春先に福岡で亡くなりました。コロナ禍での感染防止対応に厳しい時期でお見舞いもかなわなかったことが残念でなりません。出身国はエジプトで、イスラム教の彼の場合は、火葬ではなく、土葬で遺体は埋葬されます。イスラム教徒は「現世」はいつか必ず終末を迎え、死者は生前の姿で「復活」して「最後の審判」を受け天国か地獄に行く信じ、火葬すると復活すべき肉体が失われると恐れています。ただ、99%が火葬されている日本では他の埋葬方法への理解は進んでおらず、約23万人がいると推計されているムスリム（イスラム教徒）に対し、埋葬できる墓地は日本国内には9カ所のみというのが現状です。彼の遺体は福岡から広島の実験墓地へ車で運ばれました。日本の常識は火葬なので、イスラムという教義をきちんと伝えられていない私たちは、国際社会が進む現在、異文化相互理解の観点からもこのような習慣も学び、理解していなくてはならないと感じました。



エジプトの国花（スイレン）





# INFORMATION CORNER

## Onojo-city International Exchange Association

### ～ 英語道場 ～

7月26日～11月8日  
(全8回)

協会理事のリビングストーン先生の英語教室が始まります。身近な話題を気軽に英語で話せる力をつけて、「広い世界」へ羽ばたきましょう。



### ～ 異文化交流 ～

第一回 講演会  
7月23日(土)

会場：大野城中央  
コミュニティセンター  
2階 視聴覚室  
時間：13:30 ～ 14:30  
講師：朱 尚萍  
九州大学大学院生  
タイトル：「中国旧正月の  
伝統行事」

詳細は同封のチラシをご覧ください。

### ～国際大運動会～

福岡県留学生会(FOSA)と合同の国際大運動会が今年も行われます。2019年にスタートのこの企画は年々参加国も増えて盛り上がり大好評です。



2020年  
開催日：2022年10月30日  
会場：大野城市中央  
コミュニティセンター

### ～ US-JAPAN On-line program ～

昨年のオンラインプログラムの経験を活かし、2023年1月か2月にバーモントの学生とオンラインで交流することを計画して準備を進めています。ご協力、よろしくお願いいたします。

## Other organizations News & Events

### 5/21 オイスカ西日本研修所入所式

新型コロナにより海外からの渡航制限が緩和されたことで、オイスカ西日本研修センターの入所式が8名の研修生を迎えて2年ぶりに行われました。協会との交流が再開します♥



(出身国) パプアニューギニア  
フィジー、マレーシア、モンゴル  
東ティモール、インドネシア、  
ウズベキスタン、ミャンマー

### 6/26 福岡県留学生会(FOSA) 新入生歓迎会

2022年度的笑顔あふれる海外からの留学生の皆さんの歓迎会が久しぶりに天神中央公園で行われました。今後、協会との合同活動が楽しみです。



### 編集後記

感染対策に加え、熱中症対策も必要な季節となりました。空はどんよりと曇りがちですが、新年度がスタートして何となく浮き浮きするものを感じています。今年度も、元気な協会の姿を皆様に届けたいと思っています。よろしくお願いします。(T)



大野城市国際交流協会事務局： 市役所3階 コミュニティ文化課内

TEL:092-580-1812

FAX: 092-573-7791

email: [begin@city.onojo.fukuoka.jp](mailto:begin@city.onojo.fukuoka.jp)